


150周年記念撮影で笑顔を見せる全校児童と教職員ら




**学校概要**



**【学校名】** 琴浦町立赤崎小学校  
**【所在地】** 琴浦町赤崎264  
**【校長名】** 井合初美  
**【児童数】** 203人  
**【教育目標】** 明るく、たくましく、心豊かな子どもの育成  
 つながり合い、学び合い、高め合う、あかさきっこ

**【沿革】**  
 明治6年 専称寺に赤崎学校が開校  
 明治13年 旧藩倉庫を改装して、現在の校門入口西側に移転し、赤崎小学校に改称  
 大正2年 現在地に移転  
 令和5年 創立150周年



# もったいないをなくそう!

赤崎小の5年生は、総合的な学習の時間で、学校の150周年記念として「祝・赤小150歳もったいないをなくそう計画」に取り組んだ。今は使われていない場所を、またみんなに使ってもらえるように、「多目的ホール」「体育館掲示」「旧正門」「地図」「緑のカーペット」の5グループに分かれて、児童がそれぞれ工夫して作り替えた。みんなが集まり、明るく、楽しい場所にするためのプロジェクトについて紹介する。

5年生が作った新聞です

## 体育館掲示

### 明るい掲示板に 折り紙で3か月かけ改装

「体育館掲示」グループは、8人の児童が取り組んだ。体育館入り口にある掲示板は何にも使われておらず、くもの巣もあつた。これを約3か月かけて改装。折り紙で飾り付け、体育館で遊ぶ時の利用ルールなどを分かりやすくまとめた用紙を張って、明るい掲示板にした。メンバーは、体操服やボールの形を折り紙で作り、掲示板に張って華やかにしたほか、学年ごとのボールの使用日などのルールをタブレットで入力、印刷して掲示するなど全員で工夫



華やかになった体育館掲示板



## 多目的ホール

「多目的ホール」グループは、今年では、下学年の児童の児童6人は、昨年児童が遊ぶ音が聞こえる場所から9月にかけて、所になった。児童玄関近くの同ホールを掃除したり、段ボールを掃除したり、段ボールを使った遊べる空間を作ったりして、児童が楽しく遊べるスペースに改装し、最初にホールを掃除。広

## 楽しい遊び場に 段ボールすごろく製作

1年生や2年生に、人間すごろくを体験してもらったところ、盛り上がる声や、たぐさんの笑顔が見られた。遊んでくれた1年生は、「すごろくで、1位になったからうれしかった」と語った。2年生は「みんなですごろくを進められて、自分もみんなも楽しかった」と話するなど、とても好評だった。(井上翔都、今田彩羽、馬野琉介、浜垣日花、藤川賢将、森魁翔)

## 地図

### 分かりやすく一新 登下校に役立つ一枚に



児童が完成させた校区の新しい地図

「地図」グループの児童5人は、職員室前にある校区内の地図が古くて使われていないことに気づき、登校班の地図をもとに、学校を中心として正確で分かりやすいオリジナルの新しい地図作りに取り組んだ。

地図のサイズは、約1枚×60センチの大きなものだ。白いボードにペンで地図を描き、登下校に役立つ地図にしようとする登校班の通学路も記載したほか、横断歩道を渡る時の注意や1列歩行の徹底など、登校班の決まりも書き込んだ。最後に絵の具で工夫しながら地図の色付けも行った。完成した地図を見た5年生の藤川賢将さんは「文字が大きくて分かりやすいし、学校の場所などが

大きく書いてあって見やすかった」と話した。他の学年の児童も「見やすくなった」「すごい」などと喜んでいる。地図リーダーの石谷優歩さんは「みんなに分かるようにするのが大変だったけど、完成後、地図を見る人が多くなってきたのでとてもうれしい」と述べた。(石谷優歩、田宮一加、福本瑠花、森莉央、今西来輝)

## 丁寧に掃除、ピカピカ

### 歴史紹介のポスター作成も



旧正門をブラシで掃除する児童ら

「旧正門」グループは、昨年6月8月にかけて、5人の児童が門の掃除をしてきれいにしたほか、旧正門について全校児童に知ってもらおうと、校内放送での案内や校内の石

碑と校歌レリーフなど学校の歴史的な物の写真も貼ったポスターの作成に取り組んだ。学校北側の「旧正門」はほとんど使われていない。元々、門全体を飾っていた2メートル程度の小石の多くが剥がれて見栄えが悪くなっており、残った石をブラシで落とす掃除を行った。ポスターは、掃除する前と後の写真を貼って見比べられるようにしたり、校歌のレリーフや玄関前にある「自学 自治の石碑」など、学校の長い歴史を感じさせる物の写真を貼ったりして独自に作り上げた。これらの内容を全校児童に知ってほしいと、校内放送で何度も案内をした。メンバーの福本真由さんと三谷虹心さんは「掃除の小石取りが大変だった」と振り返った。寺田優奈さんは「これからは旧正門だけでなく、赤崎小の歴史なども広めたい」と話した。(伊藤和奏、寺田優奈、橋井優心、福本真由、三谷虹心)

## 緑のカーペット

### にぎわい戻る

#### 掃除、飾り付けできれいに



きれいになった緑のカーペットで  
楽しい遊び場を児童ら

「緑のカーペット」グループの児童6人は、図工室の前の廊下にある、緑色のカーペットが敷かれた高さ約20センチ、広さが約3平方メートルの遊べるスペースが使われていないのをもったいないと考え、掃除や飾り付けをして、児童が楽しめる場所にした。グループのメンバーは、カーペットの掃除に熱心に取り組んだほか、「にぎやかで明るく楽しい場所にした」と思い、壁や用意した机などに、ハロウィーンやクリスマスなどをイメージする物を折り紙で作って飾り付けた。「作業で大変だったのは掃除だった」とメンバーは口をそろえたが、精を込めて取り組んだ結果、緑のカーペットは、もったいない場所ではなく、下学年の児童が遊んで楽しむ場所へと生まれ変わり、にぎわいが戻った。新しくなった緑のカーペットで遊んでいた3年生の天野優飛さんは「福笑いが楽しかったです。これからもここでいっぱい遊びたいです」と話した。(浅野瑠、奥田蓮斗、小西蓮次、西村圭史、吉田和弘、吉田悠起)